

こどもけい相談室

千葉県小児科医会 ひしき 菱木はるか 医師



こどもの誤飲について



赤ちゃんは生後半年も過ぎると、何でも手にして口に持っていきようになりますが、食べ物とそうでないもの（異物）を区別することはできません。異物を誤って飲みこむことを誤飲といひ、のどや気管に詰まらせてしまうことを誤嚥といひます。

乳幼児でみられる誤飲

固形物（ボタン型電池、磁石、コイン、おもちゃ等）、その他（タバコ*、薬品、洗剤等）がよくみられます。症状がある場合は嘔気・嘔吐・腹痛などを認めます。

※タバコはそのものより、吸殻の入った（ニコチンの溶け出した）灰皿の水を飲んだ場合のほうが危険です。

乳幼児でみられる誤嚥

ピーナッツが多く、その他豆類、果物、プラスチックなどがみられます。ピーナッツ誤嚥は窒息や重症肺炎の原因になり、死亡する危険すらあります。何かを飲みこんだあとに激しいむせこみや嘔吐、呼吸にゼーゼーなどの音がすることもあります。

予防方法

赤ちゃんの口に入る小さなものや危険薬品を、目や手の届くところに置かないことが最も重要です。直径が32mm以下（トイレトーパーの芯に入る）ものは誤飲の可能性があります。ピーナッツや乾燥した豆類は乳幼児に与えないようにしましょう。

自宅での応急処置

まず周囲を確認し、口の中に異物があれば取り除きます。

吐かせてはいけないもの

- 何を飲んだかわからない
- ボタン電池
- コイン
- 灯油・ベンジン
- マニキュア・除光液
- 洗剤・漂白剤

吐かせるもの

- タバコ*¹
- ホウサン団子
- ナフタリン
- 大量の医薬品

※1（タバコの吐かせ方）

- ① 舌の奥を下に押し付ける
- ② 濃いぬるいお茶を作り、くりかえし飲ませて吐かせる（牛乳や水は飲ませないでください!!）

救急受診すべきケースについて

ボタン電池、複数の磁石、タバコ、薬品などはそのままにしておく危険ですので、すぐに受診しましょう。固形物は現物を持参し、薬品は成分のわかるものを持参してください。

日本中毒情報センターの中毒110番（電話029-852-9999：無料）に問い合わせ、正確な応急処置を取ってください。

こども急病
電話相談

受診した方が良いのか、
様子をもて大丈夫なのか、
看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

ブッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、局番なしの

#8000

●ダイヤル回線、又は親子市からおかけの場合

☎043 (242) 9939

緊急・重症の
場合は迷わず
「119」へ

●相談日時は
毎日・夜間 午後7時～午後10時